



令和2年2月21日

No. 62

文責 校長 飯久保一男

## 自立へ向けて 失敗を見守りましょう

何度注意しても子どもが忘れ物をするのはなぜでしょう。宿題を忘れたり、リコーダーを忘れたり、給食袋を忘れたり、「まったく…」とお母さん方のため息が聞こえてきそうです。前々号の「困る経験」や前号の「たまには痛い目にあわせましょう」につながりますが、子ども自身が忘れ物をして損をしたということを体験として感じていないことが原因の一つです。忘れ物をしてもお母さんが届けてくれる、友達が貸してくれる、このような、人に頼った生活が日常化してしまうと、いくら注意しても、何度も繰り返します。



子どもが忘れ物をしていても見て見ぬふりをすることは忘れ物をなくす一つの方法です。忘れ物を繰り返す中で、自分で「忘れ物をすると自分が損をする」と意識できる子どもは忘れ物を減らすことができます。忘れ物をしたときの子どもの言い訳の中に「だってお母さんが…」と親のせいにする言葉が出てくる場合があります。これは、親への依存であり、甘えです。また逆に、親は子どもに失敗させたくないという思いから、忘れ物をさせないように、注意したり、点検したりしてしまいがちです。「自分のことは自分ですること」は自立への第一歩です。

**注意** 忘れ物を見て見ぬふりをするのは一つの方法です。逆効果の場合もあります。「忘れ物は自分が損をする」と意識できる子どもの場合に効果があります。

今日 11/19(月)	20時発表
	9℃[+1]   -1℃[+1]
くもり のち 雨	時間 0-6 6-12 12-18 18-24 降水 0% 50% 80% 70%
今日 11/19(月)	20時発表
	7℃[+1]   1℃[-1]
くもり 時々 雨	時間 0-6 6-12 12-18 18-24 降水 60% 80% 70% 30%
今日 11/19(月)	20時発表
	18℃[+1]   12℃[0]
くもり 一時 雨	時間 0-6 6-12 12-18 18-24 降水 60% 20% 10% 10%

例えば、子どもに「今日は雨が降りそうだから傘をもっていきなさい。」と言って傘をもたせることは、子どもの自立につながるでしょうか。

これでは、自立につながりません。親が判断して、親の言うとおりにしている生活を積み重ねてしまうと、子どもは自分では判断しないで、親に頼ることになってしまいます。傘をもっていわずに雨が降ってきて濡れてしまったとき、「お母さんが傘をもっていくように言ってくれなかったからだ！」などと親のせいにする子どもになってしまいます。

自立のためには「自分の行動に責任をもつこと」が大切です。ものごとを人のせいにしないことです。傘をもっていくかどうかの判断を子どもに任せ、結果として傘をもっていわず、雨に濡れて「困る経験」も必要です。次の曇り空のときには自分で判断して傘をもっていくかもしれません。こういう経験を積み重ねることで、「自分で判断して行動できる子ども」に育っていくと思います。自ら下した判断を人のせいにはできないからです。

親の大きな役割は、子どもの自立への支援です。そのためにはなるべく「自分で判断」させ、それが失敗につながってしまったり、損につながる経験をしてしまったりしたとしても、見守ってほしいと思います。そして、その積み重ねがやがて「自立」につながるということを理解していただき、子どもの年齢にあった自立を支援してほしいと思っています。

(参考)「子どもには、どんどん失敗させなさい」(水野達朗:著)

雨ニモアテズ  
詠み人知らず

雨にもあてず  
風にもあてず  
雪にも夏の暑さにもあてず  
ブヨブヨの体にたくさん着こみ  
意欲もなく  
体力もなく  
いつもブツブツ不満を言っている  
毎日塾に追われ テレビに吸い付いて遊ばず  
朝からあくびをし 集会があれば貧血を起こし  
あらゆることを  
自分のためだけを考えて省みず  
作業はグズグズ 注意散漫すぐに飽き  
そしてすぐ忘れ  
立派な家の自分の部屋に  
閉じこもっている

東に病人あれば  
医者が悪いと言い  
西に疲れた母あれば  
養老院に行けと言い  
南に死にそうな人あれば  
寿命だといひ  
北に喧嘩や訴訟があれば  
眺めて関わらず  
日照りの時は  
冷房を付け  
みんなに勉強 勉強と言われ  
叱られもせず  
怖い者も知らず  
こんな現代っ子に  
誰がした



言わずと知れた宮沢賢治『雨ニモマケズ』をパロディにしたものです。これは、宮沢賢治のふるさとの岩手県盛岡市の小児科の医師が学会で発表したもので、作者は小学校の校長先生だそうです。痛烈ですが、ある意味、的を射ているところもあると思います。何となく切なく感じます。こんな子どもには育てたくありません。

<前号の問題の正解です>

- ① 汚名返上 …名誉挽回と混同されます。汚名を挽回しては困ります。汚名は返上しなければ…。
- ② 舌つづみを打つ …漢字では「鼓」と書きます。
- ③ さいさきがいい …漢字では「幸先」と書きます。幸せが先に来たのですから「いい」につながります。
- ④ 時間を割く …時間割にも「割」が使われています。
- ⑤ 所要時間 …「要件」「用件」の使い分けの混同と同じです。
- ⑥ 責任転嫁 …「嫁」にはよそへやるという意味があります。自分の責任をよそへやるという意味です。嫁に責任を押し付けるという意味ではありません。
- ⑦ 歯にきぬを着せぬ …漢字で書くと「衣」ですが「きぬ」と読みます。
- ⑧ 馬子にも衣装 …ほめ言葉ではありません。馬子は馬に人や物を載せて運ぶ仕事をする人のことで、封建時代の身分の低い人を指します。そんな身分が低い人たちでも、身なりをしつかりすれば立派に見えるという意味です。
- ⑨ 絶体絶命 …この「絶体」は「絶体絶命」以外に使うことはないようです。九星術という運勢判断、占いに用いる星のうちの「凶」を示す星の名がもとになっています。
- ⑩ 危機一髪 …髪の毛1本ほど先まで危機が迫っているという意味です。

有名なこのおもちゃは、  
わざとこの字を使っているのですね…

